

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月9日

東

上場会社名 株式会社 I - n e 上場取引所
 コード番号 4933 URL https://i-ne.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 原 義典 (TEL) 06-6443-0881
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	19,517	20.5	1,919	0.6	1,913	△7.0	3,012	161.9
2022年12月期第2四半期	16,199	13.1	1,906	20.1	2,056	31.6	1,150	26.8

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 3,006百万円(153.7%) 2022年12月期第2四半期 1,185百万円(30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	171.44	166.26
2022年12月期第2四半期	65.78	63.60

(注) 2022年11月30日を基準日として、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	19,726	13,361	67.7
2022年12月期	16,490	10,331	62.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 13,361百万円 2022年12月期 10,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00			
2023年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	17.7	4,300	32.9	4,200	21.1	3,950	105.0	224.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 2 Q	17,622,240株	2022年12月期	17,482,240株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	158株	2022年12月期	158株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 2 Q	17,570,037株	2022年12月期 2 Q	17,481,944株

(注) 2022年11月30日を基準日として、2022年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通しについては、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が進み感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る新たな局面に入り、国内の個人消費は緩やかに回復の兆しが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格や原材料価格の上昇等によって高インフレとなり、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような状況の中で、当社グループは「We are Social Beauty Innovators for Chain of Happiness ～私たちは、幸せの連鎖を生む為に、社会を美しく変革する～」をミッションに掲げ、「ブランド創出力」「OMO」「IPTOS」を強みとして、独自の商品・ブランド開発モデルによって、積極的な新商品開発、マーケティング、市場開拓、海外展開に取り組んでいるところです。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(a) 国内事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品の日本国内の卸売事業者を通じた小売店及び量販店運営事業者への卸売販売、インターネットを活用した日本国内の一般消費者への直接販売であります。

国内事業では、持続的な成長に向けて、当社が強みを持つヘアケア系、美容家電、スキンケア他のカテゴリーの継続的な投資及び新たなトレンド発掘に注力しました。

BOTANISTブランドにおいては、2023年6月に、毎年ご好評いただいている夏の限定商品「ボタニカルリフレッシュシリーズ」を発売しました。リフレッシュシリーズには「ホワイトティーエキス（*チャ葉エキス（保湿成分）のこと）」や「狭山茶シードオイル（*チャ種子油（保湿成分）のこと）」といった環境に配慮したアップサイクル原料を採用し、貴重な成分を無駄にすることなく活用しております。また、2023年3月にフルリニューールを実施した「ボタニカルボディソープシリーズ」が当第2四半期においても順調に配荷店舗数を伸ばし、売上高の伸長に寄与しました。

SALONIAブランドにおいては、2023年4月に2023年春夏限定「ユニバースシリーズ」を発売しました。また同月に一部商品の価格改定を実施しつつも、積極的なマーケティング投資や新商品の投入等によって好調に推移し、売上高の伸長に寄与しました。

ナイトケアビューティーブランドYOLUは、2023年2月に発売を開始した髪の導入美容液「カムナイトリペアブースターヘアミスト」が順調に配荷店を拡大しました。また、2023年6月にディズニー限定デザイン「スリーピングビューティーシリーズ」を発売し、売上高の伸長に寄与しました。

その他、今後のさらなる成長に向けて、2023年3月及び6月に複数の新ブランドを立ち上げ、継続的な売上高伸長に取り組んでまいります。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,961百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は2,949百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(b) 海外事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品のインターネットを活用した海外の一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット販売事業者、販売代理事業者、美容専門店、ドラッグストアへの卸売販売であります。

中国においてはアリババグループの越境ECであるTmall Global（天猫国際）等を通じた一般消費者への販売に取り組み、香港、台湾においては同国内に多数の店舗が展開されている化粧品・コスメショップ・小売店での販売に継続的に取り組みました。中国越境ECにおける2023年5月から6月にかけて行われた中国三大セールの中の1つとも言われる「618セール」では、YOLUブランドがDouyinの各サイトの「輸入シャンプー/トリートメント売上指数ランキング」カテゴリ売上1位を獲得しました。

艾恩伊（上海）化粧品有限公司においては、Tmall.com（天猫）やDouyin（抖音）といったプラットフォームを活用したオンラインでの販売、及び大手ドラッグストアグループWatsonsにて、BOTANISTブランドの販売に取り組みました。また、世界的大手原料メーカーTRI-K Industries, Inc.（アメリカ・ニュージャージー州、以下TRI-K）と共同研究室「Hair Research & Innovation Lab」を中国上海に設立し、2023年7月よりTmall.com（天猫）、Douyin（抖音）で発売の「ボタニカルヘアマスク（スムーズ/ダメージリペア）」を共同開発しました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は555百万円（前年同期比48.2%増）、営業損失は235百万円（前年同四半期は営業損失352百万円）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,517百万円（前年同期比20.5%増）となりました。また、営業利益は1,919百万円（前年同期比0.6%増）、経常利益は1,913百万円（前年同期比7.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,012百万円（前年同期比161.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（A）流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、16,909百万円となり、前連結会計年度末よりも3,161百万円増加いたしました。その主な内訳は、現金及び預金が2,209百万円、売掛金が306百万円、商品が140百万円、原材料及び貯蔵品が133百万円、前渡金が444百万円、それぞれ増加したことによるものです。

（B）固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、2,816百万円となり、前連結会計年度末よりも74百万円増加いたしました。その主な内訳は、有形固定資産が28百万円、無形固定資産が11百万円、投資その他の資産が35百万円、それぞれ増加したことによるものです。

（C）流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、6,278百万円となり、前連結会計年度末よりも、216百万円増加いたしました。その主な内訳は、買掛金が187百万円、1年内返済予定の長期借入金が90百万円、未払金が351百万円、それぞれ減少し、未払法人税等が959百万円増加したことによるものです。

（D）固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、86百万円となり、前連結会計年度末よりも、10百万円減少いたしました。その主な内訳は、長期借入金が19百万円減少したことによるものです。

（E）純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、13,361百万円となり、前連結会計年度末よりも、3,029百万円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が3,012百万円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期におきましては、当社ミッション「We are Social Beauty Innovators for Chain of Happiness ～私たちは、幸せの連鎖を生む為に、社会を美しく変革する～」の実現のために、成長を最重視するスタンスに変更はありません。2023年12月期通期の連結業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき修正いたしました。詳細につきましては2023年8月9日に公表いたしました「2023年12月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,483	7,693
売掛金	4,171	4,477
商品	3,365	3,505
原材料及び貯蔵品	144	277
前渡金	351	795
その他	235	162
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	13,748	16,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	230	242
減価償却累計額	△75	△99
建物及び構築物（純額）	154	142
機械装置及び運搬具	10	10
減価償却累計額	△7	△7
機械装置及び運搬具（純額）	3	2
工具、器具及び備品	263	298
減価償却累計額	△220	△245
工具、器具及び備品（純額）	43	52
リース資産	9	12
減価償却累計額	△9	△10
リース資産（純額）	-	2
その他	-	29
有形固定資産合計	201	229
無形固定資産		
商標権	1,710	1,620
その他	61	162
無形固定資産合計	1,771	1,782
投資その他の資産		
投資有価証券	30	30
関係会社株式	42	-
繰延税金資産	544	594
その他	152	180
投資その他の資産合計	769	805
固定資産合計	2,742	2,816
資産合計	16,490	19,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,665	1,477
電子記録債務	60	27
1年内返済予定の長期借入金	134	43
未払金	2,046	1,694
未払法人税等	1,129	2,089
返金負債	338	265
賞与引当金	192	194
その他	495	485
流動負債合計	6,062	6,278
固定負債		
長期借入金	60	40
資産除去債務	36	43
その他	-	2
固定負債合計	96	86
負債合計	6,158	6,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,291	3,295
資本剰余金	2,851	2,854
利益剰余金	4,180	7,193
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,323	13,342
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△9	-
為替換算調整勘定	18	2
その他の包括利益累計額合計	8	2
新株予約権	-	15
純資産合計	10,331	13,361
負債純資産合計	16,490	19,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	16,199	19,517
売上原価	7,915	9,330
売上総利益	8,283	10,186
販売費及び一般管理費	6,376	8,267
営業利益	1,906	1,919
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
業務受託料	-	20
受取補償金	1	0
固定資産売却益	98	-
為替差益	37	18
その他	19	1
営業外収益合計	157	41
営業外費用		
支払利息	4	0
支払手数料	3	4
持分法による投資損失	-	42
その他	0	0
営業外費用合計	7	47
経常利益	2,056	1,913
特別利益		
関係会社株式売却益	-	2,992
特別利益合計	-	2,992
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	2,055	4,906
法人税、住民税及び事業税	825	1,948
法人税等調整額	80	△54
法人税等合計	905	1,893
四半期純利益	1,150	3,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,150	3,012

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,150	3,012
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	59	9
為替換算調整勘定	△24	△15
その他の包括利益合計	35	△5
四半期包括利益	1,185	3,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,185	3,006

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。